

J Rの業務外注化を止めるためのニュースです。感想や意見、現場の情報などをお寄せ下さい。(メール) dc-info@deluxe.ocn.ne.jp

外注化で労災事故が多発

J R発足後に300人超の労働者が死亡

J R発足後から2006年8月までに労災事故によって死亡したJ Rの正社員は66人、下請け労働者は251人に上ると言われます。犠牲は下請け労働者に集中しています。

■京葉線、19歳の青年の死

4月17日、京葉線の鉄橋の補修工事で孫請けの19歳の青年労働者が労災で命を落としました。命綱なしでの作業中、足場がはずれて転落したのです。

4月9日には和歌山でJ R東日本の子会社の労働者が鉄板の下敷きとなり死亡しています。

ところが、いずれもJ R東日本は責任をとらないのです。下請け会社と現場労働者に責任が

押しつけられ、殺されたのです。

■営利優先の外注化が事故の原因

何が事故の原因なのでしょう。

厚生労働省が2002年に鉄道の安全に関する省令を事前規制から事後チェックへと変えたことも重大な原因です。

しかし、何よりJ Rによる営利優先の外注化が事故を引き起こしているのです。大切な仕事を片っぱしから外注化し、その契約価格を値切れば安全が犠牲になることは一目瞭然です。

平均で毎年10人以上の労働者が労災で命を落とす職場は尋常ではありません。働く者の命を軽視する外注化には毅然として反対しよう。

命綱つけず補修作業
鉄橋から男性転落死

16日午前8時45分頃、江東区辰巳のJ R京葉線新木場―潮見駅間の鉄橋で、補修作業をしていた作業員2人が転落。このうち、命綱を着けていなかった男性作業員(19)が約10メートル下の運河に転落した。

作業員は約20分後に水中で発見されたが、搬送先の病院で死亡が確認された。東京湾岸署は、作業中に足場が外れた可能性があるとみて、詳しい状況を調べている。同署幹部によると、男性は朝から防風壁の補修作業を行っていた。転落した別の男性作業員は命綱をつけていたため、無事だったという。

読売新聞(2012年4月17日)

鉄板落下、下敷きで社員死亡

和歌山・総合車両製作所

9日午前9時10分ごろ、和歌山県紀の川市北勢田、「総合車両製作所」(本社・横浜市)の和歌山事業所で、クレーンで地面から約40センチ上げられた鉄板(縦約3メートル、横約12メートル、重さ約1ト)が落下して倒れ、そばにいた同社社員、岩田善治さん(53)と大阪府和泉市大野町Ⅱが下敷きとなって死亡した。同社はJ R東日本の子会社で、鉄道車両や線路を製造している。

県警岩出署などによると、鉄板はコンテナの側面用。鉄板をつるす金具の溶接部分のがれており、同署は業務上過失致死の疑いもあるとみて捜査している。【竹田迅岐】

毎日新聞(2012年4月9日)